

## 令和7年度 入学式 校長告辞

今日の佳き日に、令和7年度の石川工業高等専門学校入学式を挙行できますことは、私ども教職員および在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

本年度は、第1学年に入学する学生211名、第3学年に編入学する留学生3名、第4学年に編入学する学生1名、さらに専攻科に入学する学生24名、合わせて239名の新入生を迎えることになりました。

新しく入学あるいは進学された皆さん、ご入学、おめでとう。皆さんを心から歓迎いたします。専攻科に進学された方々を別にすれば、多くの皆さんにとって、高専における生活は未知のものでしょうか。新しい生活に対する大きな夢と期待、そして少しの不安を胸に、そこに座っておられることと思います。

本校は、昭和40年に国立の高専として石川県の中心に位置する津幡町の東、高台の自然豊かなこの地に設立されて以来、「人間性に富み、創造性豊かな実践力のある研究開発型技術者育成のための高等教育機関」との基本理念の下、約9600人の卒業生を輩出してきました。それらの先輩方は国内外の様々な分野で活躍しています。

新入生の皆さんは、なぜ石川高専を選んだのでしょうか？数学や理科が得意な人、また、ロボットや車が好きな人もいるでしょう。他にも、橋や建築物に興味がある人、プログラミングやゲームの制作を志す人もいるかもしれません。理由はそれぞれ異なると思いますが、本校の専門性の高い教育実績に魅力を感じたのではないのでしょうか。

高専は、中学卒業という若い世代で入学し、本科の5年間で、高校から大学学部に相当する7年間の教育に匹敵する学びを提供します。大学に引けを取らない優秀な先生方が、皆さんをしっかりと支え導いてくれるほか、同じ日に入学を迎えた多くの仲間が助け合い切磋琢磨できる環境が整っています。また、上級生たちも学業や課外活動を通じて模範となり、頼れる存在として後輩を助けてくれます。地元石川県の企業や自治体などの多くの方々も、皆さんの志と未来に期待して、実践や研究の場を提供したり、貴重な資金を支援したりと、皆さんの学びを後押ししてくれます。石川高専の充実した環境の下で、じっくりと自分の可能性を広げていってください。

さて、皆さんにひとつお願いがあります。現代社会は急速な変化と技術の進歩に直面しています。これからの時代を切り開く技術者となるためには、専門分野の学びを深めるのはもちろん、他の技術領域や歴史、文学、語学、スポーツ、アートなど、リベラルアーツの分野にも幅広く関心を持ち、多様な経験を積むことが重要です。新しい技術の例がAIで

すが、スマートフォンやパソコンにも生成AIの機能が搭載されるようになり、ノーベル賞にAI研究が選ばれるなど、その進展はますます加速しています。このスピードについていくのは容易ではありませんが、経済産業省が昨年度発表した報告書では、生成AI時代のDX推進に必要なスキルの一つとして、「経験を通じて培われる問いを立てる力や検証する力」が挙げられています。石川高専では、課外活動やコンテスト、海外での研修など、多彩な体験ができる機会が豊富に用意されています。皆さんには、学業に真剣に取り組むとともに、様々なことにチャレンジして、それぞれの未来を切り開くための確かな土台を築いてほしいと思います。

今年もタイ、モンゴル、カンボジアから3人の留学生を迎えることとなりました。言葉も文化も違う環境で勉強することは大変なことだと思いますが、多くの学友と交流し津幡の生活になじんで、思い切り日本の生活を楽しんでください。将来は、皆さんの国と日本の懸け橋になってくれることを希望いたします。

高等学校から第4学年に編入した学生は、これまで勉強してきたことをさらに高めるといふ強い目的意識を持っていることと思います。環境が変わって戸惑うことも多いかもしれませんが、新しい先生方や仲間と触れあい充実した学校生活を送ることを願っています。

専攻科に進学した24名の皆さん、皆さんは新しい挑戦を始める節目に立っています。これからの2年間は、本科で培った基礎をさらに深め、より高い専門性と広い視野を学び、将来、人間性豊かな新たなイノベーションを生み出す技術者として、グローバルに活躍できるように、さらに自らを鍛えてください。

最後になりましたが、新入生の皆さん、どうか今日の感激を忘れないでください。その思いを胸に、一人一人の夢の実現のため、自分の可能性を信じて、高専生活を過ごしてください。

また、ご家族の皆様方に改めてお祝いを申し上げます。教職員一同、新入生の学校生活が実り多いものとなるよう全力を尽くして参る所存です。家庭と学校が連携し、学生たちの成長を心を込めて見守り、励まして参りたいと存じますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

本日はまことにおめでとうございます。

令和7年4月4日

石川工業高等専門学校長

富田 大志